

平成28年



火災・救急・救助の概況

NIIGATA JOETSU AREA FIRE DEPT.
上越地域消防事務組合

目次

火災編

1	火災発生状況	1
2	火災の特徴	2
3	出火原因	4
4	火災による死傷者	5
5	損害額の推移	5
6	焼損床面積の推移	6
7	住宅用火災警報器	7
8	火災状況比較	10
9	管内地域別署所別火災状況比較	11

救急編

1	救急出動状況	12
2	救急搬送人員	15
3	5年間の救急搬送人員の推移	16

救助編

1	救助出動状況	17
2	地域別救助出動状況	18
3	地域別救助人員状況	19

高速道路出動状況

高速道路出動状況	20
----------	-------	----

緊急消防援助隊

緊急消防援助隊の訓練参加	22
--------------	-------	----

上越地域消防事務組合組織一覧

.....	23
-------	----

火災編

1 火災発生状況

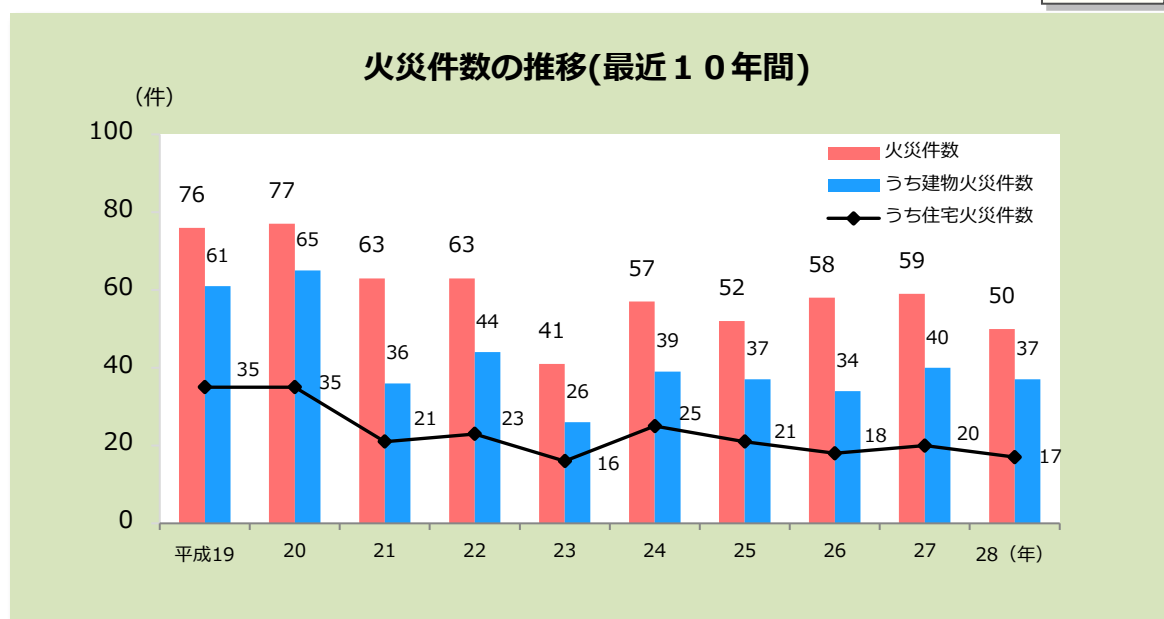
火災件数は50件

平成28年の火災件数は50件で、前年より9件減少しています。これは最近5年間で最も少ない件数です。建物火災は前年より3件の減少となっています（1-1表、1-1図）。

1-1表

火災発生状況					
	平成28年 (件)	割合 (%)	平成27年 (件)	割合 (%)	増減
火災件数	50	100	59	100	▲9
建物火災	37	74.0	40	67.8	▲3
(住宅火災)	(17)	(34.0)	(20)	(33.9)	(▲3)
林野火災	2	4.0	1	1.7	1
車両火災	6	12.0	12	20.3	▲6
その他火災	5	10.0	6	10.2	▲1

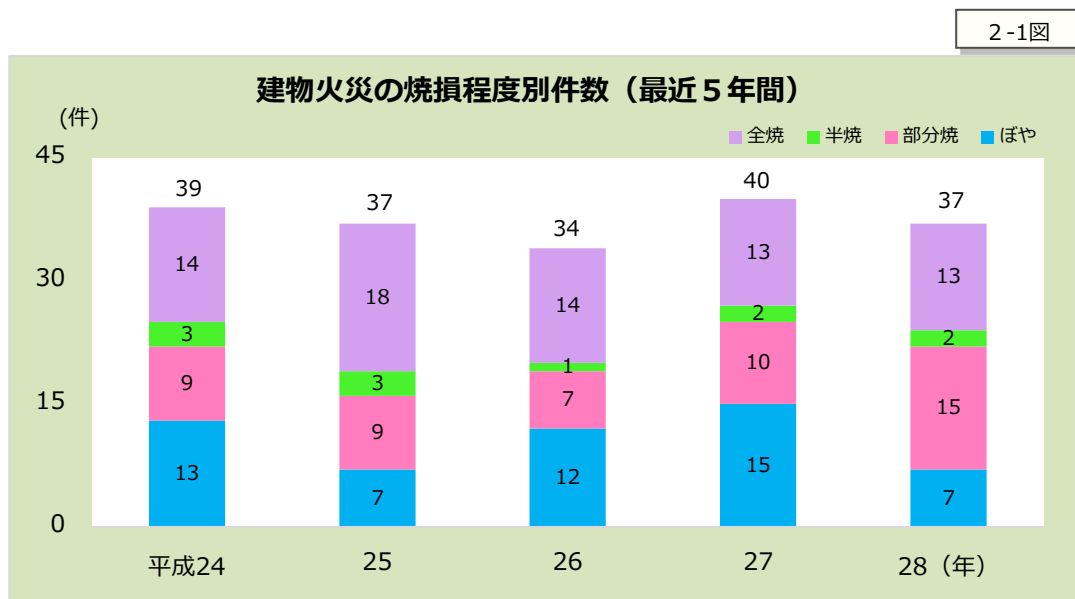
1-1図



2 火災の特徴

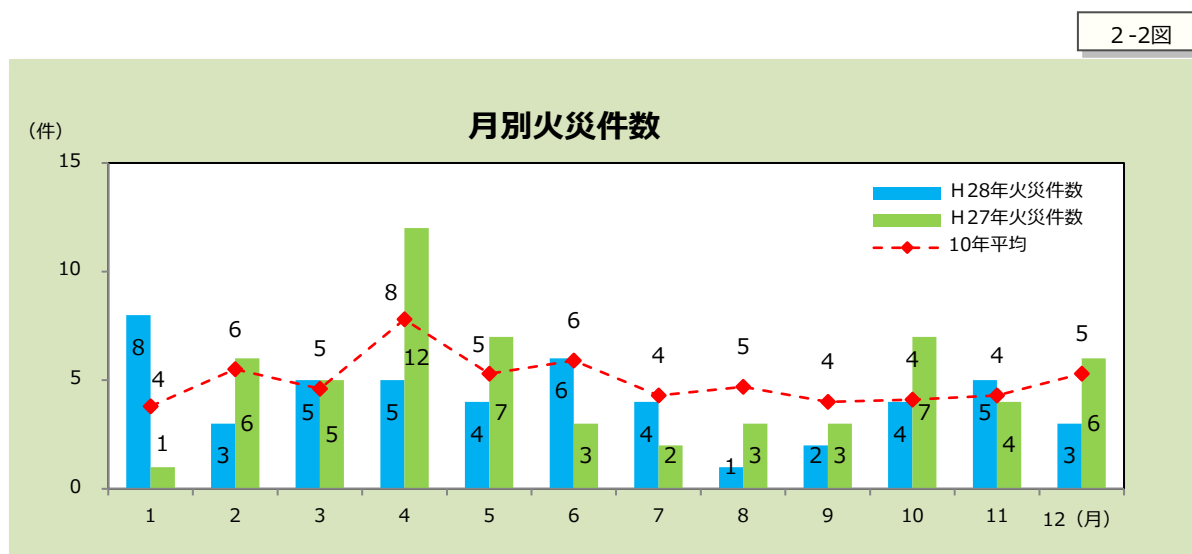
建物火災の焼損程度別件数

平成28年の建物火災を焼損程度別にみると、建物火災37件のうち、部分焼が15件で41%と最も多くなっています（2-1図）。



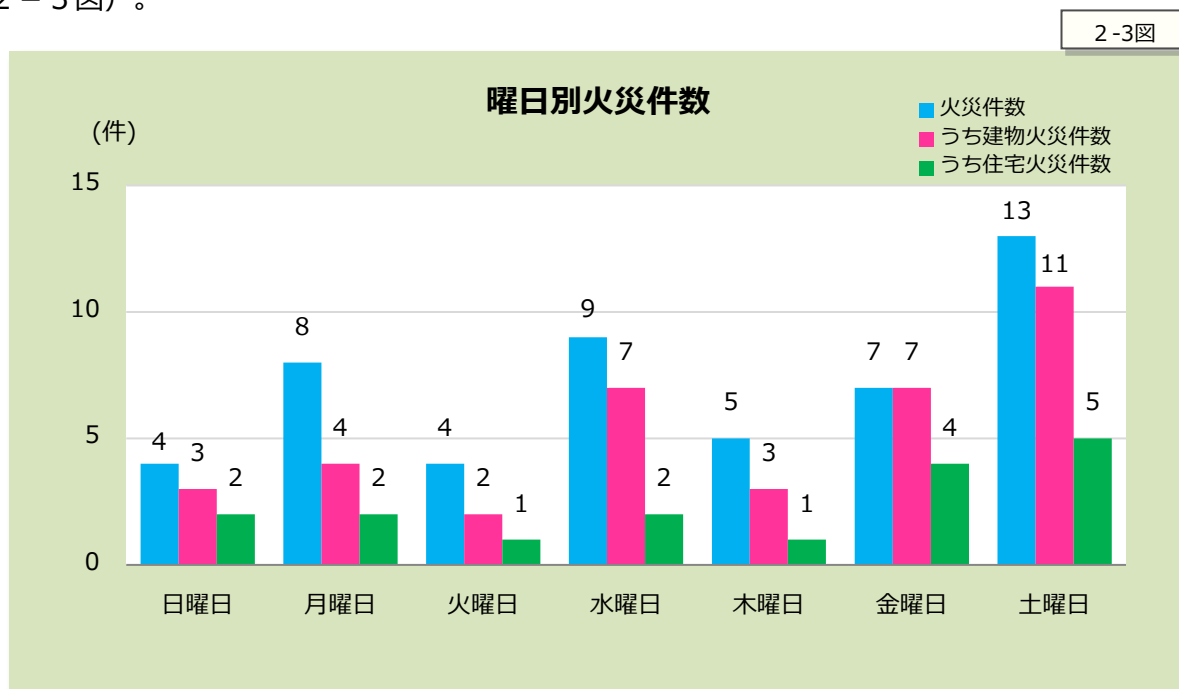
月別火災発生状況

平成28年の火災発生状況を月別にみると、1月に8件と最も多く、次いで6月に6件、3月、4月、11月に5件発生しています（2-2図）。



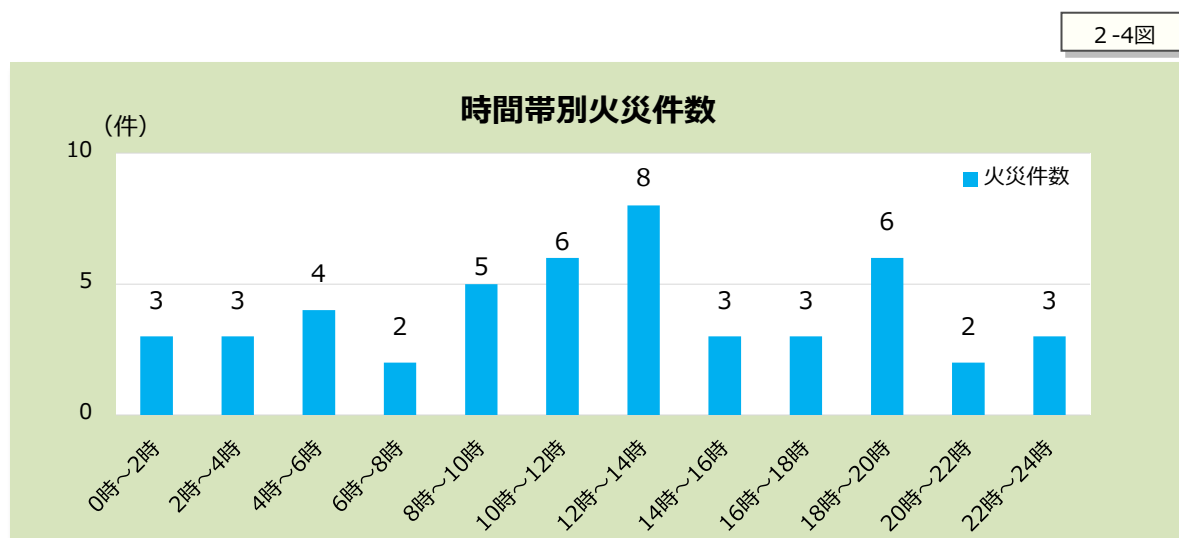
曜日別火災発生状況

平成28年の火災件数を曜日別にみると、土曜日に13件発生しており、全体の26%を占めています（2-3図）。



時間帯別火災発生状況

平成28年の火災件数を時間帯別にみると、午前8時から午後2時までに19件発生しており、全体の38%を占めています（2-4図）。



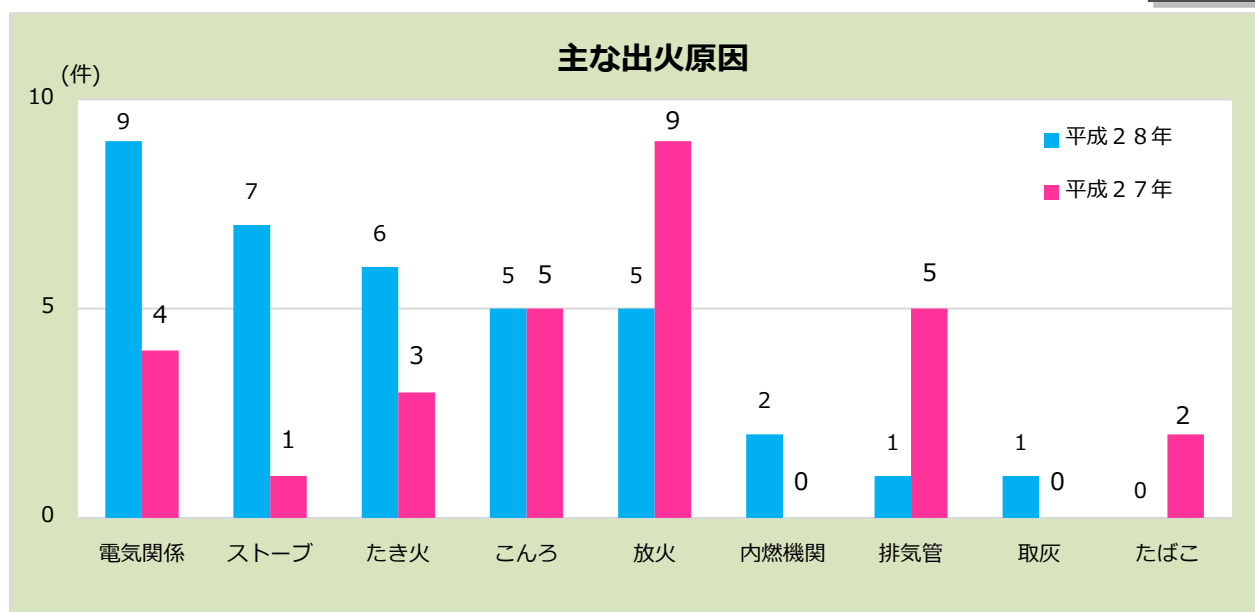
※ 不明：2件

3 出火原因

出火原因は「電気関係」が1位

平成28年の出火原因は、「電気関係」が9件で最も多く、次いで「ストーブ」が7件、「たき火」が6件、「こんろ」と「放火」が5件となっています（3-1図）。

3-1図



※「放火」は放火の疑いも含む

【火災原因の内訳・説明】

- 電気関係
 - 屋内配線の短絡 5件
 - 電気製品コードの短絡 2件
 - 低圧進相コンデンサーからの出火 1件
 - 開閉器（スイッチ）劣化による発熱 1件
- ストーブ
 - 薪ストーブ（煙突貫通部からの出火、火の粉の落下など） 3件
 - 石油ストーブ（ガソリンの誤給油、吹き出し口前に可燃物設置） 3件
 - 電気ストーブ（可燃物が接触したもの） 1件
- こんろ
 - 鍋のかけ忘れ（揚げ物を調理中にかけてしまったもの） 4件
 - その他 1件
- 内燃機関：車両エンジン等の内燃機関から出火したもの
- 排気管：車両エンジン等内燃機関の高温になった排気管が原因となって出火したもの
- 取灰：残火のある灰が原因となって出火したもの

4 火災による死傷者

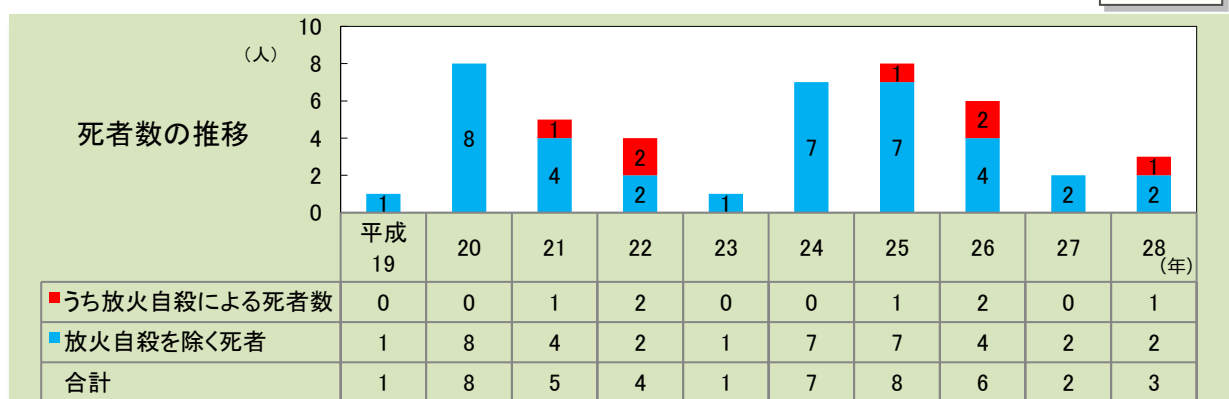
火災による死者は3人、負傷者は12人

平成28年の火災による死者数は3人で、前年より1人増加しています。負傷者数は12人で、前年より1人増加しています（4-1表、4-1図）。

4-1表

火災による死傷者				
	平成28年	うち放火自殺者	平成27年	うち放火自殺者
死者(人)	3	1	2	0
負傷者(人)	12		11	

4-1図

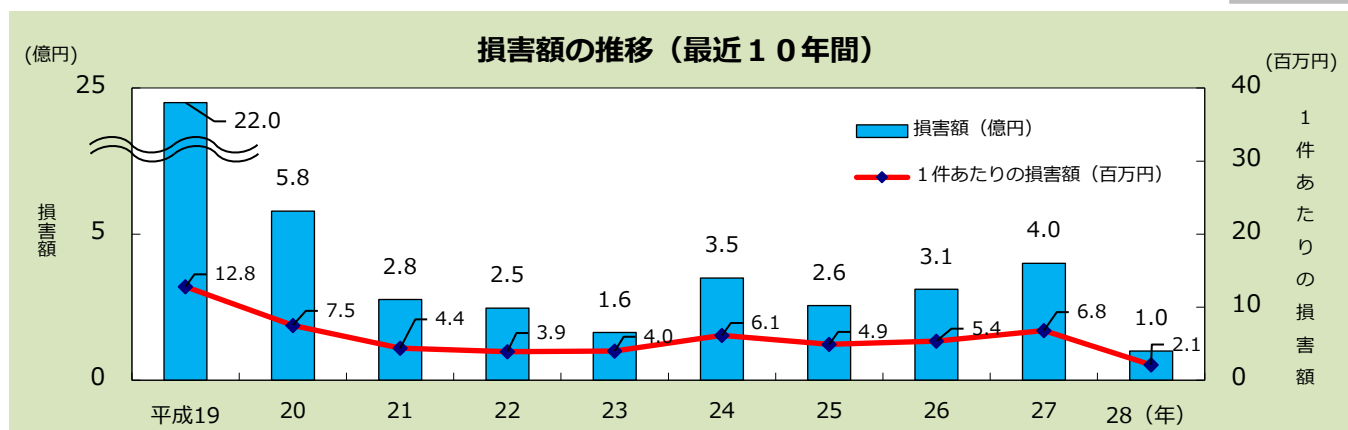


5 損害額の推移

火災による損害額の推移

平成28年の火災損害額は1億387万円で、最近10年間で最も低い額となっています（5-1図）。

5-1図

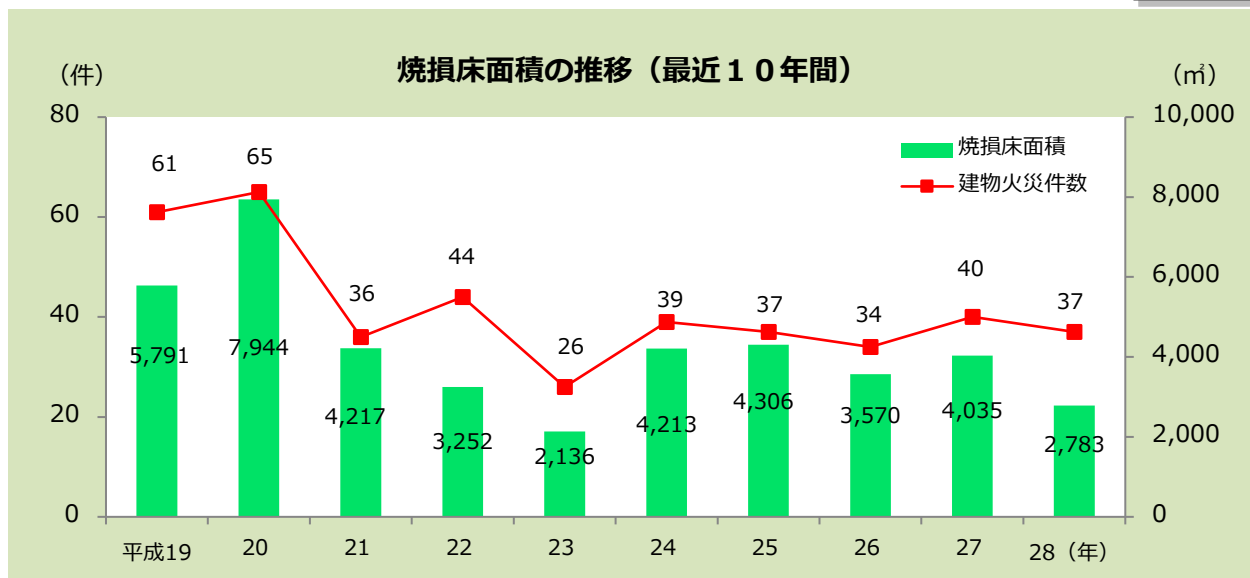


6 焼損床面積の推移

焼損床面積は2,578m²

平成28年の火災による焼損床面積は2,783m²（暫定値）で、前年より1,252m²減少しています（6-1図）。

6-1図



糸魚川市大規模火災

平成28年12月22日、糸魚川市内の木造住宅密集地の飲食店から発生した火災は、強風の影響を受け、飛び火等により広範囲に延焼が拡大しました。この火災による被害は、焼損棟数147棟、焼損面積は40,000m²に達し、負傷者も17人発生しました。

上越地域消防も新潟県広域消防相互応援部隊として出動し、消火活動に当たりました。

※火災による被害は、平成29年1月20日現在の数値です。



7 住宅用火災警報器

住宅用火災警報器の設置率

平成28年6月1日時点における住宅用火災警報器の設置率は93.6%、条例適合率は80.2%となっています（7-1表）。

7-1表

住宅用火災警報器の設置率（平成28年6月1日現在）		
	設置率※	条例適合率※
上越地域消防	93.6%	80.2%
新潟県	83.1%	68.2%
全国	81.2%	66.5%

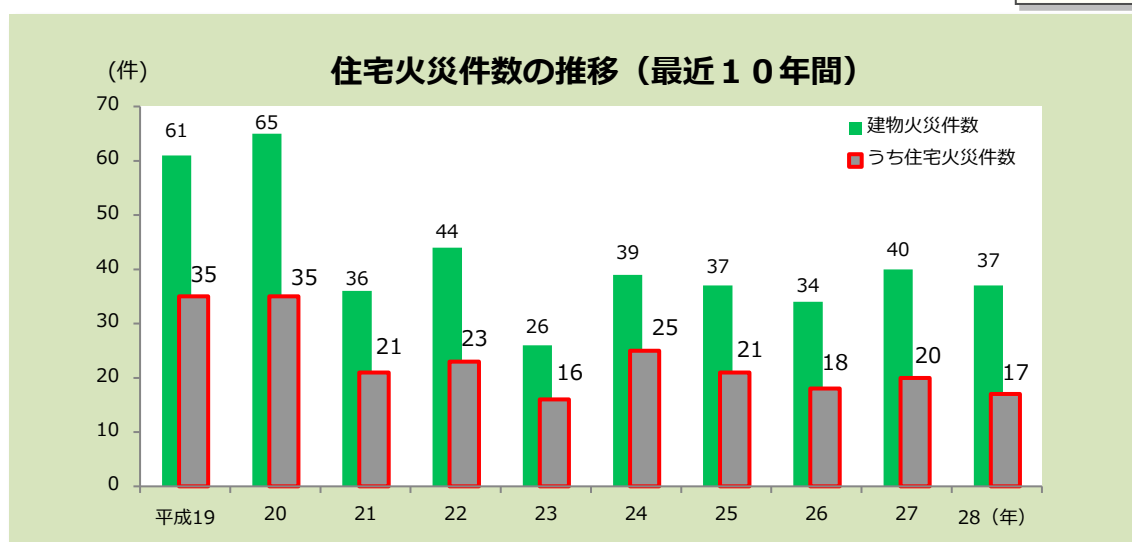
※設置率：火災予防条例において設置が義務付けられている住宅の部分（すべての寝室と寝室が2階にある場合は階段の上部）のうち、1か所以上設置されている世帯の全世帯に占める割合

※条例適合率：火災予防条例において設置が義務付けられている住宅の部分（すべての寝室と寝室が2階にある場合は階段の上部）のすべてに設置されている世帯の全世帯に占める割合

住宅火災件数の推移

住宅用火災警報器の一般住宅への設置が義務化された平成18年以降、住宅火災は減少傾向にあります（7-1図）。

7-1図



※住宅火災とは：専用住宅（付属建物を除く）、共同住宅の住戸部分及び併用住宅（住居部分の面積が延べ面積の20%以上であるものに限る。）の住宅部分から出火した火災をいう。

住宅用火災警報器を設置していたことで助かった事例(奏功事例)

7-2表

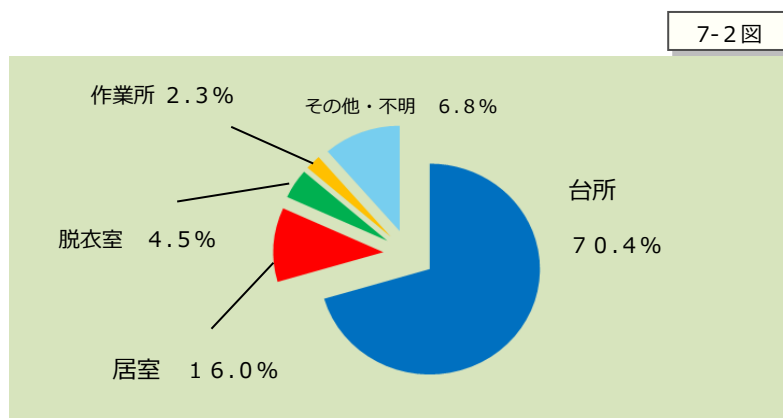
奏功事例件数						
年	奏功事例 件数(件)	被害程度(件)				
		被害無し	ぼや	部分焼	半焼	全焼
平成18年	2	1	1			
平成19年						
平成20年	4	3				1
平成21年						
平成22年	4	2		1		1
平成23年	7	3	1	2		1
平成24年	8	4		1	1	2
平成25年	6	3	1	2		
平成26年	4	4				
平成27年	5	4	1			
平成28年	4	1	1	2		
合計(件)	44	25	5	8	1	5
割合(%)	100.0	56.8	11.4	18.2	2.2	11.4

7-3表

平成28年の奏功事例内訳			
発生年月	建物用途	被害状況	奏功内容
平成28年4月	店舗併用住宅	被害なし	空焚き状態となった鍋から煙が発生し、住宅用火災警報器の鳴動に気付いた通行人がガスコンロの火を止め、119番通報したものの。
平成28年5月	専用住宅	ぼや	2階で就寝中、住宅用火災警報器の鳴動に気付き確認したところ、1階に煙が充満しており、熱気を感じたため119番通報したものの。
平成28年8月	専用住宅	部分焼	1階にいた家人が2階の部屋に設置されている住宅用火災警報器が鳴動しているのに気付き、初期消火を実施したものの。
平成28年12月	専用住宅	部分焼	家人が住宅用火災警報器の鳴動に気付き確認すると、暖房器具付近から火が出ているのを発見。初期消火を実施したものの。

台所への設置も効果があります

統計を取り始めた平成18年以降、住宅用火災警報器が設置されていたことで火災を未然に防いだり、被害が少なくて済んだ事例のうち、70%が台所に関する事案となっています（7-2図）。



住宅用火災警報器の奏功事例に関する住民表彰について

平成28年4月、上越市内の飲食店で住宅用火災警報器が作動、付近住民が早期に発見し、初期消火を行ったことで火災を未然に防ぎました。

火災の早期発見による初期消火等、迅速で勇敢な行動を称え、住民4名に上越南消防署長が感謝状を贈呈しました。



住宅用火災警報器は10年を目安に交換しましょう！

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の劣化や電池の寿命などで火災を感知しなくなるおそれがあります。住宅用火災警報器は10年を目安に交換しましょう。

上越地域消防では平成28年10月からの1か月間、「住宅用火災警報器維持管理・設置強化キャンペーン」を実施し、住宅用火災警報器の定期的な点検や交換などの維持管理を呼びかけました。

住宅用火災警報器維持管理啓発用チラシ

8 火災状況比較

8-1表

区 分		年 別					過去10年 平 均	
		平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年		
火 災 件 数		50	59	58	52	57	62	
	建 物 火 災	37	40	34	37	39	44	
	うち住宅火災	17	20	18	21	25	25	
	住 設	設置あり (一部設置含む)	11	9	13	16	17	
	警 置		設置なし	4	7	3	4	7
	器 状			不明	2	4	2	1
	況							
	林 野 火 災	2	1	2	4	2	2	
	車 両 火 災	6	12	10	8	13	10	
	船 舶 火 災	0	0	0	0	0	0	
	そ の 他 の 火 災	5	6	12	3	3	6	
焼 損 棟 数		53	57	60	64	60	66	
り 災 世 帯		27	26	37	35	38	38	
り 災 人 員		76	58	86	86	90	100	
建物焼損床面積 (㎡)		2,783	4,035	3,570	4,306	4,213	4,353	
建物焼損表面積 (㎡)		203	246	304	484	475	318	
林野焼損面積 (a)		141	60	603	25	7	83	
損 害 額 (千円)		103,868	404,553	311,169	255,953	350,137	511,428	
死 者 合 計 (人)		3	2	6	8	7	5	
(うち放火自殺者)		(1)	(0)	(2)	(1)	(0)	(1)	
建 物 火 災		2	1	4	7	7	3	
林 野 火 災		0	0	0	0	0	0	
車 両 火 災		0	1	1	0	0	1	
そ の 他 火 災		1	0	1	1	0	1	
負 傷 者 合 計 (人)		12	11	7	10	8	15	
建 物 火 災		8	10	2	10	7	13	
林 野 火 災		1	0	2	0	0	0	
車 両 火 災		0	1	0	0	1	1	
そ の 他 火 災		3	0	3	0	0	1	

9 管内地域別署所別火災状況比較

9-1表

区分	火災件数		焼損棟数		り災世帯数		死傷者数 (死者数)		建物焼損 床面積 (㎡)		損害額 (千円)		出火率 ※1	
	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	
合計	50	59	53	57	27	26	15(3)	13(2)	2,783	4,035	103,868	404,553	2.2	
上越市	高田・直江津地区	22	28	28	27	14	10	4	5(1)	706	1,876	47,748	248,709	1.7
	安塚区	1	1	1		1				281		1,297		3.8
	浦川原区	1	1	1	1	1		2		33	20	4,577	2,041	2.8
	大島区	1	2	1	2				1		120	886	1,210	5.9
	牧区	2		2		1		2(1)		127		6,495		9.8
	柿崎区	3	2	3	1		1	1		93	166	5,532	3,599	3.0
	大潟区	1	1		1		1					1,590	2	1.0
	頸城区	1	4		3		1		1			13	155	1.0
	吉川区	2	2	2	4	1	2		1	233	283	4,416	11,573	4.5
	中郷区	1	3	3		2			1	167		3,008	2,648	2.5
	板倉区	2	1	1						33		992	73	2.8
	清里区													0.0
	三和区	1		1						1		248		1.7
	名立区		4		4		2		3(1)		197		4,659	0.0
	小計	38	49	43	43	20	17	9(1)	12(2)	1,674	2,662	76,802	274,669	1.9
妙高市	新井地域	5	6	5	8	4	5	4(1)	1	479	229	13,213	8,667	2.0
	妙高原地域	3	1	3	1	2	1	1		265	699	3,376	64,471	6.0
	妙高地域	4	3	2	5	1	3	1(1)		365	445	10,477	56,746	10.3
	小計	12	10	10	14	7	9	6(2)	1	1,109	1,373	27,066	129,884	3.5
上越南消防署	13	14	22	18	10	7	3	3	636	482	25,870	23,165	1.5	
上越北消防署	9	18	5	12	3	4	1	3(1)	63	1,394	21,034	225,699	1.7	
新井消防署	8	10	9	8	6	5	4(1)	2	679	229	17,213	11,388	2.2	
頸北消防署	6	5	5	6	1	4	1	1	326	449	11,538	15,174	2.5	
頸南消防署	7	4	5	6	3	4	2(1)		630	1,144	13,853	121,217	7.9	
東頸消防署	3	4	3	3	2		2	1	314	140	6,760	3,251	3.8	
高土分遣所	4		4		2		2(1)		135		7,600		3.3	
名立分遣所		4		4		2		3(1)		197		4,659	0.0	

※1 出火率：人口1万人あたりの出火件数
参考：平成27年出火率 全国3.1 新潟県2.5

救急編

1 救急出動状況

救急出動件数は9,053件

平成28年の救急出動件数は9,053件で、前年より189件減少しています。1日平均2.5件、約1時間に1回の割合で救急車が出動したことになります（1-1表）。

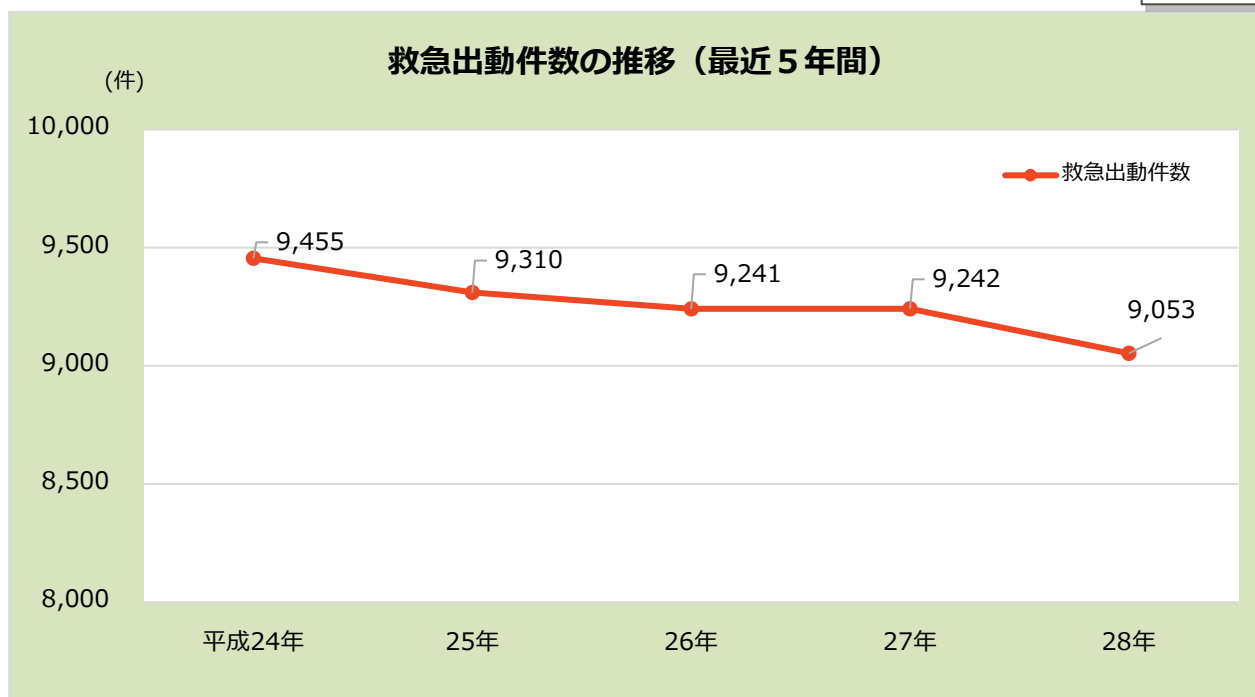
1-1表

救急出動状況			
	平成28年	平成27年	増減
出動件数（件）	9,053	9,242	▲189
搬送人員（人）	8,560	8,716	▲156

救急出動件数の推移

最近5年間の救急出動件数の推移をみると、平成24年の9,455件をピークとして減少傾向となっています（1-1図）。

1-1図



月別救急出動状況

平成28年の救急出動件数を月別にみると、前年と比べて5月、9月、12月は増加しましたが、1月、4月、6月、7月、11月は大幅に減少しています（1-2表）。

1-2表

月別救急出動件数			
	平成28年 (件)	平成27年 (件)	増減
1月	823	869	▲46
2月	714	715	▲1
3月	750	773	▲23
4月	704	742	▲38
5月	772	734	38
6月	645	723	▲78
7月	737	795	▲58
8月	871	879	▲8
9月	742	714	28
10月	766	764	2
11月	706	753	▲47
12月	823	781	42
合計	9,053	9,242	▲189



救急競技会

事故種別救急出動状況

平成28年の救急出動件数について事故種別をみると、「急病」が5,486件で最も多く、全体の60.6%、次いで「一般負傷」が1,432件で15.8%、「交通事故」が627件で6.9%となっています（1-3表）。

1-3表

事故種別救急出動件数				
事故種別	平成28年 (件)	割合 (%)	平成27年 (件)	割合 (%)
急病	5,486	60.6	5,552	60.1
一般負傷	1,432	15.8	1,525	16.5
交通事故	627	6.9	687	7.4
自損行為	114	1.3	111	1.2
労働災害	118	1.3	106	1.1
火災	55	0.6	62	0.7
運動競技	87	1.0	55	0.6
加害	27	0.3	32	0.3
水難事故	10	0.1	12	0.1
自然災害	4	0.0	5	0.1
その他	47	0.5	45	0.5
(転院搬送)	1,046	11.6	1,050	11.4
合計	9,053	100	9,242	100

2 救急搬送人員

救急搬送人員は、8,560人

平成28年の救急搬送人員は8,560人で、前年より156人減少しています（2-1表）。

2-1表

救急搬送状況								
	新生児 (人)	乳幼児 (人)	少年 (人)	成人 (人)	高齢者 (人)	高齢者の割合 (%)	合 計	割合 (%)
安 塚 区		3	6	41	91	64.5	141	1.6
浦 川 原 区		6	8	44	117	66.9	175	2.0
大 島 区		1	1	24	45	63.4	71	0.8
牧 区		1	1	12	64	82.1	78	0.9
柿 崎 区		8	9	115	278	67.8	410	4.8
大 湍 区		10	12	112	193	59.0	327	3.8
頸 城 区		7	9	97	206	64.6	319	3.7
吉 川 区			2	30	121	79.1	153	1.8
中 郷 区		8	8	36	80	60.6	132	1.5
板 倉 区		6	8	43	151	72.6	208	2.4
清 里 区		1	3	14	65	78.3	83	1.0
三 和 区		9	9	57	117	60.9	192	2.2
名 立 区		5	5	32	98	70.0	140	1.6
新 井 地 域	1	38	23	217	673	70.7	952	11.1
妙高高原地域		8	17	123	166	52.9	314	3.7
妙 高 地 域		6	8	59	118	61.8	191	2.2
他 市 町 村			1	4	1	16.7	6	0.1
合 計	26	296	286	2,467	5,485	64.1	8,560	100

※年齢区分

新生児：生後28日未満

乳幼児：7歳未満

少年：7歳以上～18歳未満

成人：18歳以上65歳未満

高齢者：65歳以上

3 5年間の救急搬送人員の推移

傷病程度別救急搬送人員の推移

傷病程度別救急搬送人員の推移は3-1表、3-1図のとおりです。

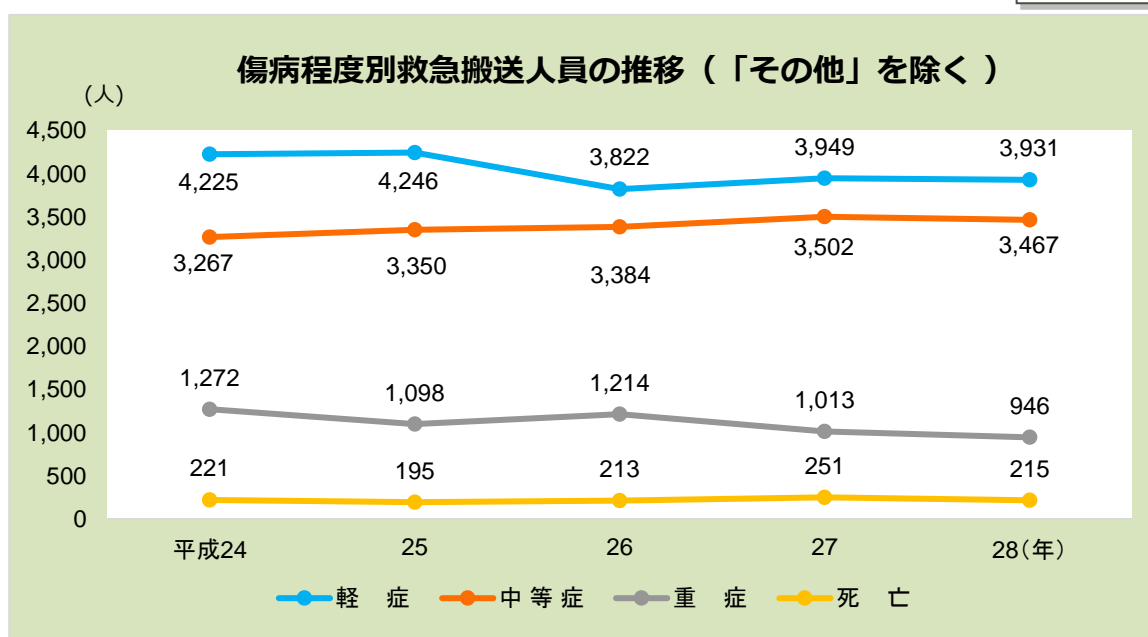
3-1表

傷病程度別救急搬送人員（最近5年間）					
(人)					
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
軽 症	4,225	4,246	3,822	3,949	3,931
中 等 症	3,267	3,350	3,384	3,502	3,467
重 症	1,272	1,098	1,214	1,013	946
死 亡	221	195	213	251	215
そ の 他	1		1	1	1
合 計	8,986	8,889	8,634	8,716	8,560

※傷病程度

- 軽 症 : 入院を要しないもの
- 中等症 : 21日未満の入院を要するもの
- 重 症 : 21日以上入院を要するもの
- 死 亡 : 初診時死亡が確認されたもの
- その他 : 医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

3-1図



救助編

1 救助出動状況

救助出動件数は73件

平成28年の救助出動件数は73件で、前年より16件減少しています。また、活動件数は38件で、前年より16件減少しています（1-1表）。

1-1表

救助出動状況						
事故種別	出動件数(件)			活動件数(件)		
	平成28年	平成27年	増減	平成28年	平成27年	増減
火災	3	0	3	3	0	3
交通事故	50	47	3	24	30	▲6
水難事故	4	8	▲4	4	4	0
自然災害	0	3	▲3	0	2	▲2
機械事故	2	6	▲4	0	2	▲2
建物等事故	1	0	1	1	0	1
ガス酸欠事故	0	0	0	0	0	0
破裂事故	0	0	0	0	0	0
その他事故	13	25	▲12	6	16	▲10
合計	73	89	▲16	38	54	▲16

※ 「その他事故」：山岳事故、転落事故など



2 地域別救助出動状況

2-1表

地域別救助出動件数													
		救助事故種別（件）								出動件数（件）		増減	
		火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物等事故	ガス酸欠事故	破裂事故	その他事故	平成28年		平成27年
上越市	高田・直江津地区		23	2		1	1			1	28	34	▲6
	安塚区										0	3	▲3
	浦川原区	1	1							1	3	1	2
	大島区		2							1	3	3	0
	牧区	1	1								2	0	2
	柿崎区		4								4	7	▲3
	大潟区		1							1	2	4	▲2
	頸城区		1			1					2	1	1
	吉川区		2								2	1	1
	中郷区		3								3	3	0
	板倉区		4								4	5	▲1
	清里区										0	1	▲1
	三和区			1						1	2	2	0
	名立区		3							1	4	1	3
		小計	2	45	3	0	2	1	0	0	6	59	66
妙高市	新井地域		3	1						1	5	6	▲1
	妙高高原地域									3	3	5	▲2
	妙高地域	1	2							3	6	10	▲4
	小計	1	5	1	0	0	0	0	0	7	14	21	▲7
他市町村										0	2	▲2	
合計	平成28年	3	50	4	0	2	1	0	0	13	73	89	▲16
	平成27年	0	47	8	3	6	0	0	0	25	89		
	増減	3	3	▲4	▲3	▲4	1	0	0	▲12	▲16		

3 地域別救助人員状況

3-1表

地域別救助人員													
		救助事故種別（人）								救助人員（人）		増減	
		火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物等事故	ガス酸欠事故	破裂事故	その他事故	平成28年		平成27年
上越市	高田・直江津地区		13	2			1				16	20	▲4
	安塚区										0	3	▲3
	浦川原区	1								1	2	1	1
	大島区		2								2	1	1
	牧区		2								2	0	2
	柿崎区		1								1	7	▲6
	大潟区		1								1	5	▲4
	頸城区										0	4	▲4
	吉川区		1								1	1	0
	中郷区		1								1	1	0
	板倉区		2								2	1	1
	清里区										0	1	▲1
	三和区				1						1	1	0
	名立区		2							1	3	0	3
	小計	1	25	3	0	0	1	0	0	2	32	46	▲14
妙高市	新井地域		1							1	2	6	▲4
	妙高高原地域									2	2	3	▲1
	妙高地域	1								1	2	7	▲5
	小計	1	1	0	0	0	0	0	0	4	6	16	▲10
他市町村										0	0	0	
合計	平成28年	2	26	3	0	0	1	0	0	6	38	62	▲24
	平成27年	0	38	3	3	2	0	0	0	16	62		
増減	2	▲12	0	▲3	▲2	1	0	0	▲10	▲24			

高速道路出動状況

高速道路出動状況

出動件数は64件

平成28年の高速道路への出動件数は64件で、前年より28件減少しています（1表）。
高速道路別の出動状況は2表のとおりです。

1表

高速道路出動状況			
事故種別	平成28年 (件)	平成27年 (件)	増減
火災出動	1	3	▲2
救急出動	41	58	▲17
救助出動	10	14	▲4
その他	12	17	▲5
合計	64	92	▲28

※「その他」：高速道路上の交通事故に伴う安全管理や救急支援活動など

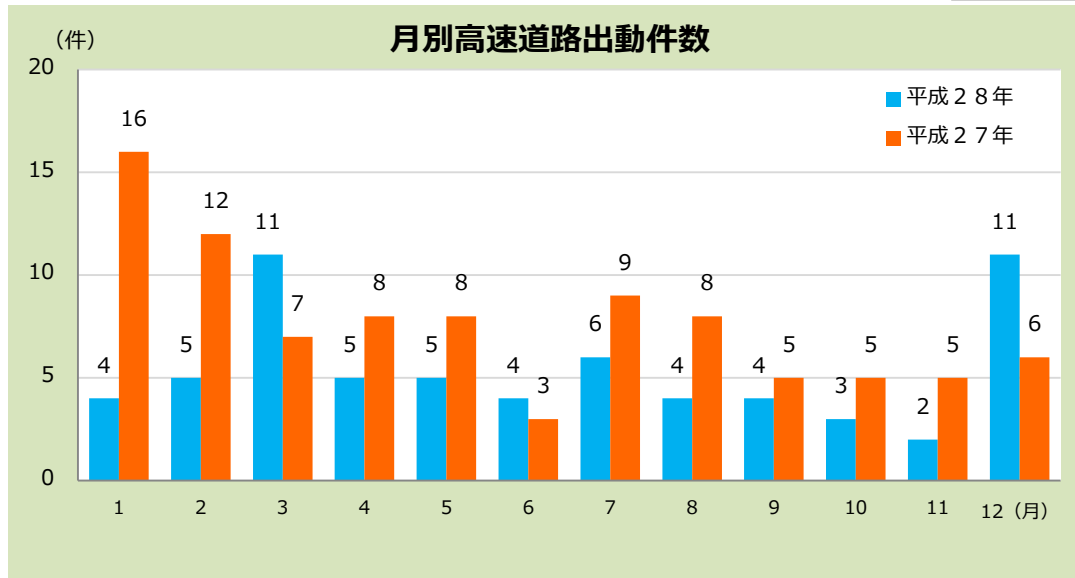
2表

高速道路別出動状況						
	出動種別(件)				出動件数(件)	
	火災出動	救急出動	救助出動	その他	平成28年	平成27年
北陸自動車道	1	19	4	7	31	52
上信越自動車道	0	22	6	5	33	40
合計	1	41	10	12	64	92

月別高速道路出動状況

平成28年の高速道路出動状況を月別にみると、3月と12月に11件発生しており、冬期間での出動が多くなっています（1図）。

1図



緊急消防援助隊

緊急消防援助隊の訓練参加

避難指示区域内における大規模火災対応訓練へ参加

平成28年6月3日、福島県双葉郡浪江町で「避難指示区域内における大規模火災対応訓練」が実施され、当組合から消火隊1隊5人が参加し、火災防ぎょ訓練及び除染訓練を実施しました。



緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練へ参加

平成28年10月12日・13日の2日間、秋田県能代市で開催された「緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練」へ参加しました。出動隊は、指揮隊1隊4人・救急隊1隊3人・後方支援隊1隊3人の計3隊10人で、大規模地震・津波による建物倒壊、火災、土砂災害などを想定した訓練を実施しました。



上越地域消防事務組合組織一覽

消 防 本 部	上越市北城町1丁目16番1号	025-525-1199 (代 表)
		025-525-1195 (総 務 課)
		025-525-1196 (消防防災課)
		025-525-1197 (予 防 課)
上越南消防署	上越市北城町1丁目16番1号	025-525-1198
上越北消防署	上越市大字春日新田1311番地の1	025-544-0119
新井消防署	妙高市諏訪町1丁目7番8号	0255-72-7119
頸北消防署	上越市柿崎区柿崎631番地の2	025-536-6119
頸南消防署	妙高市大字田切629番地	0255-86-3119
東頸消防署	上越市安塚区松崎639番地	025-592-0119
高士分遣所	上越市大字高津424番地の2	025-528-4044
名立分遣所	上越市名立区名立大町365番地1	025-537-2301

